

決算に向けて理解を深めたい

# 「会計上の重要性」 を考える

第1章

会計制度の発展を踏まえて理解する  
「重要性の原則」と数値基準

第2章

より踏み込んだ負担軽減策が提供されている  
連結会計における「重要性の原則」

第3章

税効果、リース、退職給付、収益認識  
その他の会計基準における「重要性判断」

石王丸 周夫(石王丸公認会計士事務所 公認会計士)

「会計上の重要性」という考え方は、ますます注目されてくる。この考え方に基づく簡易な処理の容認というのは、会計処理の複雑化とバランスを取るように用意された負担軽減策だ。それは、難解なルールが導入される収益認識会計の分野に、「重要性等に関する代替的な取扱い」が設けられたことからよくわかる。

本特集では会計制度の発展を踏まえながら、「会計上の重要性」を使った簡易処理を紹介するとともに、それが実務に何をもたらすのか探っていく。